

序言

『言語と文明』第14巻が刊行の運びとなりました。本誌は言語教育研究科の学術研究誌として2003年に刊行され、以来、日本語教育学専攻、比較文明文化専攻、英語教育専攻に属する教員、院生の研究成果発表の場となっています。

2015年度は言語教育研究科博士課程（後期）の院生1名に課程博士の学位が、また博士課程（前期）・修士課程の院生15名に修士の学位が授与されました。本巻には、博士候補生による論文のみならず、修士論文の内容を深化させた修士修了生による論文も掲載されています。そのうちの1編は、本研究科ではじめて修士課程を1年という短期で修了した院生によるものです。2016年度からは長期履修制度も施行されます。様々なニーズに応えられる言語教育研究科をめざすとともに、今後も、『言語と文明』が3専攻の研究活動の成果発表の場として内外の研究者に活用されることを願うものです。

2016年（平成28年）3月

言語教育研究科長 黒 須 里 美